

<校訓>
高志共生

大庄中通信

大庄中学校
H24年度第8号
(H24.6.20・水)

テスト勉強のヒント



1 学期の期末テスト、1週間前です。期日と時間割りは

6月27日(水) ①国語 ②音・美 ③技家

6月28日(木) ①数学 ②社会 ③保体

6月29日(金) ①英語 ②理科 ③体育 ④音楽 ⑤美術 ⑥家庭科 ⑦保健 ⑧道徳 ⑨総合 ⑩外国語 ⑪英語 ⑫理科 ⑬体育 ⑭音楽 ⑮美術 ⑯家庭科 ⑰保健 ⑱道徳 ⑲総合 ⑳外国語 ㉑英語 ㉒理科 ㉓体育 ㉔音楽 ㉕美術 ㉖家庭科 ㉗保健 ㉘道徳 ㉙総合 ㉚外国語 ㉛英語 ㉜理科 ㉝体育 ㉞音楽 ㉟美術 ㊱家庭科 ㊲保健 ㊳道徳 ㊴総合 ㊵外国語 ㊶英語 ㊷理科 ㊸体育 ㊹音楽 ㊺美術 ㊻家庭科 ㊼保健 ㊽道徳 ㊾総合 ㊿外国語

2・3年生は定期テストにも慣れていることと思いますが、テスト勉強のヒントをまとめてみました。書店の学習参考書のコーナーには、勉強法の本もたくさんありますが、「How toもの」が万能ではありません。自分に合ったテスト勉強の方法を見つけてもらうために、少しでも参考になれば幸いです。《参考文献：「勉強法が変わる本 心理学からのアドバイス(市川 伸一 著)」「勉強なんてカンタンだ!(斎藤 孝 著)」…どちらも図書室に置いてある本です。

計画を立ててテスト勉強に取り組む

定期テストは、2ヶ月以上前に習ったことも範囲に入ってますし、九つもの教科のテストを受けるのですから、計画的かつ集中的にテスト勉強をする必要があります。行き当たりばったりや思いつきでなく、1週間前後(個人差はあります)の計画を立てた効率的なテスト勉強を行いましょう。ただし、欲張った計画は禁物です。また、計画通りに行かなくても気にしないでどんどんテスト勉強を進めて、必要に応じて予定を修正するといいいでしょう。テストの初日と2日目は午前中で下校です。この2日間の午後の時間帯を有効に使うことも効果的です。翌日の教科、特に暗記の必要な内容や実技教科のように日頃は家庭学習をあまりしない教科のテスト勉強にあてるのも良いでしょう。

理解する→覚える→問題を解いてみる

授業中に先生の説明を聞いているときはよくわかるのに、テストになると正解が書けない…という人がいます。授業の「わかった!」とテストで「正解が書ける」ことは別物です。授業でわかったことをテストの時に自力で使える(書ける)ようにするのがテスト勉強なのです。

新しく出てきた用語の意味がよくわからない、英語や国語の文章の解釈ができない、教科書の説明や公式がピントこない…といった「授業の内容がよく理解できない」という人もいます。そういう人は、教科書・ノート・資料集・プリントなどを使って習った内容を理解する作業が必要です。自力でわからなければ、家族や友達などの手助けやアドバイスが必要かもしれません。授業や教科書の内容を「理解する」(整理する)ことが勉強の第1段階で、これは、授業中や復習などふだんの家庭学習で終わっておくべきことですが、それができていなければ、テスト前に行く必要があります。

第2段階は、「覚える」作業です。人によって得意・不得意もありますし、興味のあるなしも影響しますが、理屈抜きで覚えなければ仕方ないことがあります。丸暗記、反復練習や語呂合わせ、書いて覚えるの

か見ながら(読みながら)覚えるのか、人によってあるいは教科によって方法は違います。授業中や第1段階の「理解する」勉強で覚えてしまっていることもあります。すでに覚えていることに時間を使っても時間のムダですから、限られた時間を有効に使って必要なことを自分に合った方法で記憶するのが第2段階の「覚える」勉強です。

そして、第3段階の「問題を解いてみる」ことを忘れてはいけません。覚えたことをテストで書くだけでいい教科では必要ないことですが、5教科では欠かせない勉強でしょう。例えば、英語では、覚えた単語や熟語を使って英語が書けるのか、書き換えができるのか、英文の意味が理解できるのか…問題をやってみないとわかりません。数学でも同じでしょう。覚えた公式や理解したはずの解き方を使って、数字や出題方法の異なる問題が解けるのかなどを確かめておく必要があります。

教科書の例題やプリントや問題集の問題が答えを見ないで解けるか(書けるか)から始めて、できなければやり直して内容の理解まで戻るのか…人それぞれですが、テストの前に必ずやっておく必要があるのが「問題練習」です。数多く問題を解けばいいのではありません。できる問題やわかっている問題はほっておいて構いませんから、できない問題をどれだけできるようにするかがポイントです。

敵を知る ~傾向をつかみ対策を立てる~

テストでは、よく出る問題や出題傾向をつかみ対策を立てることが有効です。入試は、その典型で、志望校の過去問や出題傾向に沿った受験勉強をします。中学校でも、2・3年生なら、教科担任のテストの傾向がわかっているはずですし、教科担任によれば、「ここはテストに出るから」とか「このプリントから出すから」といったことも授業で話してくれます。1年生は、初めての定期テストですから、先輩や兄弟に聞くしか方法はありませんが、3年間の中では、活用すると結果に結びつく可能性のある方法です。

体育大会のお礼

第7号で、今年の体育大会の様子を少しお伝えしました。体育大会当日、受付でアンケートをお渡しし、55名の方から回答をいただきました。参観された方の全てではありませんが、アンケートで、本校の体育大会を「非常によい」か「ややよい」と答えていただいた方が94.6%いらっしゃいました。ありがとうございました。

体育大会の土曜開催について

今年は、市内19校で6校が6/9(土)に体育大会を開催しました。アンケートの体育大会休日開催の必要性については、63.6%の方が「どちらでもよい」か「そう思わない」と答えられました。本校は、昨年1年間の土曜日で、行事や出張・クラブの公式戦・高校のオープンスクール・校区内の幼稚園や小学校の行事などのない日が、5月に2回と12~1月に4回(年間で6日だけ)ということや、学校外のスポーツ活動などに所属している生徒も公式戦等があるということから、参加できない生徒がいる状況での土曜開催はすべきでないと考え、土曜開催は見合わせることにしました。ご理解ください。

成徳小の6年生からお礼のお手紙

今年は、小中連携の一環として、成徳小の6年生が「大庄ソーラン」の見学に来てくれました。そして、後日、全員からお礼の手紙が届きました。校舎の職員・来客用玄関の内側に掲示していますので、ご来校の際には、ぜひご覧になってください。
(文責:校長 福井 隆夫)

